

れるまち」

- 3月2日～4日（本会議）
市長による提案説明、総括質疑（7人）
先行議決議案の4常任委員会、採決（3件）
- 3月7日～16日（委員会） 4常任委員会の審査
- 3月18日～24日（本会議） 一般質問（26人）
- 3月24日（委員会） 追加議案の2常任委員会
- 3月28日（本会議） 討論（11人）、採決（56件）
議案と審議結果については9ページをご覧ください。

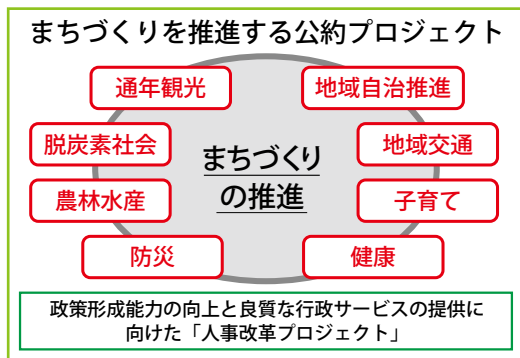
今定例会では、公明党、創風、政新クラブ、日本共産党議員団、みらい、久比岐野、会派に属さない議員（宮越馨議員）が総括質疑を行いました。

まちづくりを推進する公約プロジェクト
今後の市政運営はどう進むのか？

☀️市長が公約に掲げた8つの政策分野の施策と人事改革をプロジェクトとして位置付け、実行していくと説明がありました。

問／8つの公約プロジェクトと人事改革プロジェクトについて、目標の達成時期と取組の実施時期、スケジュールを聞きたい。

答／8つの公約プロジェクトは、令和4年度当初予算に計上した事業もあるが、現状把握や課題整理からスタートするもの等、一定の準備が必要なものもあり、具体的な内容やスケジュールの提示に至らなかった。今後は各プロジェクトの推進体制を整え、関係者や市民の皆さんと議論を深めながら、具体の事業とその進捗の見通しを整理し、



内容を公表していきたい。一方、人事改革プロジェクトは、令和4年度にプロジェクトチームを立ち上げ、改革の方針と取組内容を令和4年度末までに取りまとめ、組織改編は令和5年度から、人材育成等は令和5年度以降、できるものから実行に移していく予定である。

子育てプロジェクトで目指す
「子育て全国一」の具体的な目標等は？

☀️「子育て全国一」を目指し、子育てしやすい社会づくりを推進すると説明がありました。

問／「子育てプロジェクト」において「子育て全国一」を目指すとしているが、何をもって「全国一」とするのか。根拠とする指標や目指す具体的な数値目標等があつて当然と考えるがどうか。

答／保育料の更なる軽減や奨学金制度の充実等、社会経済情勢や子育て環境の変化に対応した「経済的支援」及び、病気の子どもへの通院支援や産後ケアの充実等、個々の家庭環境に寄り添った「人的支援」を強化するとともに、全ての子ども、子育てに関わる人が自分らしく暮らすことができ、環境づくりを推進し、

子育てしやすい社会づくりを進めることで、「子育て全国一」を目指していく。具体的な数値目標等は、「上越市子ども・子育て支援総合計画」における各種取組の成果指標、例えば、「出産や子育てがしやすいと感じる20代・30代の市民の割合」の目標値等と連動させる中で評価、検証を行っていく。

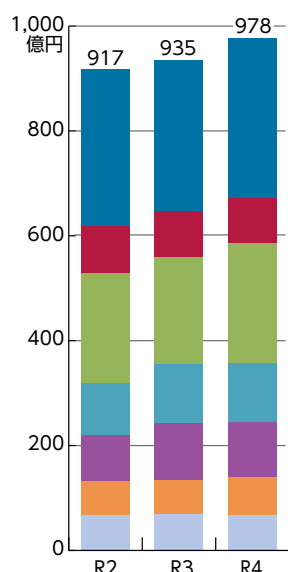


「暮らしやすく、希望あふ

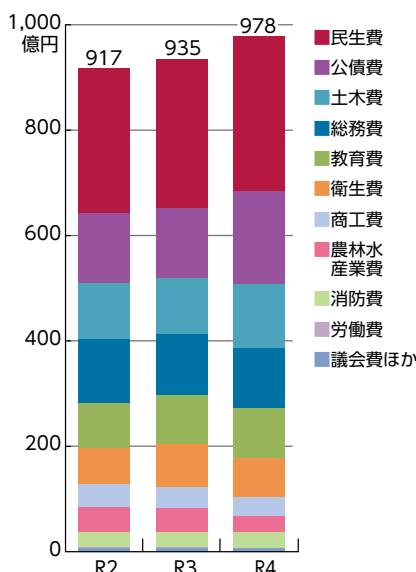
総括質疑は、市長から提案された議案に対して、案件の概要と疑問点を明らかにするために行われます。

■ 予算額（一般会計）の推移 ■

■ 歳入



■ 歳出



令和4年度の予算規模

上越市総合体育館等の大規模改修事業の完了などで普通建設事業費が減少する一方、第三セクター等改革推進債の借換えによる公債費や認定こども園施設型給付費などが増加し、前年度に比べ4.6%増となりました。

目指すまちの姿

市政運営の取組の視点は？

☀️ 市長が目指すまちの姿に掲げる「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向け、①生活の質の向上の最大化④復元力・再起力の強化⑤循環共生社会の構築の視点に基づく取組を進めるとの説明がありました。

問／5つの視点は、第7次総合計画の基本をなすものとなるのか。
答／5つの視点を含む市政運営の基本方向は、令和4年度に予定している第7次総合計画の基本構想や基本計画を策定する際の検討の基軸となるものであり、重要な構成要素となり得るものと考えている。総合計画の方向性や内容については、今後、総合計画審議会や議員をはじめとする市民の皆様と議論を重ねながら取りまとめていく。

新潟県東京事務所へ職員を派遣する目的は？

☀️ 新潟県東京事務所へ職員1人を長期派遣する予算案が提案されました。

問／新潟県東京事務所に長期派遣研修を行うとしているが、派遣の目的について聞きたい。

答／首都圏における情報収集や情報発信、企業誘致などのノウハウを学び、中央省庁や関係機関、首都圏の大手企業、研究機関等との人的ネットワークの構築を進めるとともに、公約の東京事務所の設置に向けた調査・研究を兼ねて派遣したいと考えている。

